

京都嵯峨芸術大学

広報

57



本学関係者による展覧会情報

芸術学部造形学科 油画研究室

京都嵯峨芸術大学油画研究室展『思考する視線2016』

会 期：6月21日(火)～7月3日(日)
会 場：Art Space MEISEI(京都・寺町)

山本直樹／芸術学部造形学科 油画

『芸術通信』

会 期：6月17日(金)～29日(水)
会 場：附属ギャラリー・アトスペース嵯峨(京都嵯峨芸術大学)

宇野和幸・野中梓／芸術学部造形学科 油画

『(未定)』

会 期：8月8日(月)～13日(土)
会 場：K's gallery(東京・銀座)

高柳麻美子／芸術学部造形学科 油画

『高柳麻美子個展』

会 期：10月11日(火)～29日(土)
会 場：Hideharu Fukasaku Gallery Roppongi(東京・六本木)

日野田 崇／芸術学部造形学科 陶芸

『日野田 崇個展』

会 期：7月17日(日)～8月13日(土)
会 場：Elsa Art Gallery 雲清藝術中心(台北市・台湾)

坂田岳彦／短期大学部美術学科 デザイン分野

デザイン研究グループ『Visual Voice展』

会 期：8月9日(火)～14日(日)
会 場：ギャリエヤマシタ2号館(京都・寺町)

堀としかず／短期大学部美術学科 デザイン分野

『堀としかず個展』※タイトル未定

会 期：7月28日(木)～8月8日(月) ※定休日 火・水曜日
会 場：ARTHOUSE(大阪・北堀江)

堀としかず／短期大学部美術学科 デザイン分野

『堀としかず個展』※タイトル未定

会 期：9月2日(金)～16日(金) ※定休日 日・祝日
会 場：靖山画廊(東京・銀座)

附属博物館スケジュール

『京都嵯峨芸術大学附属博物館所蔵品展

―特集・異界との出会い・異形との出会い―

会 期：7月9日(土)～30日(土)
時 間：10:00～17:00
休館日：日曜日(予定)

『妖怪作品展(仮)』

会 期：8月9日(火)～21日(日)
時 間：10:00～17:00
休館日：8月12日(金)～16日(火)、日曜日(予定)

『林遼子とミャオ族の世界(仮)』

会 期：9月24日(土)～10月30日(日)
時 間：10:00～17:00
休館日：日曜日(予定)

※ 休館日、開館時間などは都合により変更になる場合があります。

千草色
今号の色

千草色(ちぐさいろ)とは、わずかに緑みを帯びた明るい青色のことです。色名の千草とは鴨頭草から転訛した名で露草のこと。藍染による浅葱色と花色の間の色調で、多くは重ね染の下地色として用いられました。江戸時代の染色指南書『手鑑模様節用』には「京師にてぞらいろを ちくさいろといふ」とあり、主に近畿地方で使われていたと思われます。ただし、厳密には空色は千草色より少し明るく、かすかに紫を含んだ色です。

附属ギャラリー「アトスペース嵯峨」スケジュール

『大槻香奈作品展～過去から現在までⅡ～』

会 期：7月10日(日)～24日(日)
時 間：11:00～17:00
休館日：7月17日(日)

『大学院研究発表(中間報告)展』

会 期：7月28日(木)～8月2日(火)
時 間：10:00～17:00
休館日：日曜日(予定)

『妖怪作品展(仮)』

会 期：8月9日(火)～21日(日)
時 間：10:00～17:00
休館日：8月12日(金)～16日(火)、日曜日(予定)

『生涯学習講座受講生作品展・前期』

会 期：9月12日(月)～18日(日)
時 間：10:00～17:00

『京都擬人化作品展』

会 期：10月11日(火)～19日(水)
時 間：10:00～17:00
休館日：日曜日(予定)

連続公開講座「京の美意識」

四季をおりなす美しい景観に恵まれ、都として約1200年にわたる歴史の時を刻んできた京都の独特の知識や美意識について、毎回、各分野の第一線で活躍している講師をお招きして、ご講演いただいています。

第107回 暮らしに息づく手漉き和紙

日 時：7月9日(土) 14:20～
講 師：吉野 綾野 <黒谷和紙 紙漉き職人>

第108回 爪を使って織る「つづれ織り」の魅力を伝えるために

日 時：10月8日(土) 14:20～
講 師：石川 真理 <織家まりきこ つづれ織り作家>
岡本 真紀子 <織家まりきこ つづれ織り作家>

※いずれも有響館G401教室にて開催(参加無料)
お問い合わせ先：TEL.075-864-7898 社会連携・研究支援グループ

絵本読み語り「あらし山びこ」

附属図書館の児童書コーナー「あらし山びこ」では、近隣の小学生や児童を対象に、季節に合わせた絵本の読み語りイベントを開催しています。地域のみさんと京都の文化を学び、ふれあう時を一緒に過ごしながら、子どもたちの読書の第一歩を応援しています。

日 時：7月16日(土)、10月15日(土)、各日とも13:00～

※有響館1階附属図書館にて開催(入場無料)
大学授業・行事等により開催日やテーマを変更する場合があります。
お問い合わせ先：TEL.075-864-7898 社会連携・研究支援グループ

サガフリーマーケット「サガノミノイチ」

本学では、学生有志によるフリマ実行委員会の主催でフリーマーケットを開催しています。学内を会場に、リサイクル品だけでなく、学生の手作りグッズから世界にひとつの作品まで、芸術大学ならではのラインナップが並びます。在学生はもちろん、近隣の方々もご参加・ご来店いただけるサガフリーマーケット「サガノミノイチ」にご期待ください。

日 時：7月16日(土)、10月1日(土)、各日とも11:00～16:00を予定

※天候や、大学授業・行事等により開催日を変更・中止にする場合があります。
お問い合わせ先：TEL.075-864-7898 社会連携・研究支援グループ

大学関連行事予定 Jun.2016～ Spt.2016

6月 12日(日)・・・オープンキャンパス	8月 30日(火)・・・前期集中授業
19日(日)・・・体験入学	9月 2日(金)・・・後期履修登録期間
7月 10日(日)・・・体験入学(AOⅠ期プレ体験)	9月 1日(木)・・・後期授業開始
24日(日)・・・オープンキャンパス	11日(日)・・・体験入学
8月 1日(月)・・・授業予備日	17日(土)・・・AO入試Ⅲ期(体験授業型)
～6日(土)・・・	25日(日)・・・AO入試Ⅲ期(体験授業型)
1日(月)・・・AO入試Ⅰ期(体験授業型)	28日(水)・・・前期卒業・修了式
21日(日)・・・オープンキャンパス	
28日(日)・・・AO入試Ⅱ期(コミュニケーション型)	



学校法人 大覚寺学園

京都嵯峨芸術大学
京都嵯峨芸術大学短期大学部



京都嵯峨芸術大学公式
Facebook



京都嵯峨芸術大学公式
Twitter



京都嵯峨芸術大学公式
YouTubeチャンネル



〒616-8362 京都市右京区嵯峨五島町1番地
TEL.075-864-7858(代) FAX.075-881-7133 <http://www.kyoto-saga.ac.jp>
京都嵯峨芸術大学広報 第57号 2016年6月15日発行 編集：京都嵯峨芸術大学 入学広報グループ
発行：学校法人 大覚寺学園 京都嵯峨芸術大学・京都嵯峨芸術大学短期大学部
info@kyoto-saga.ac.jp

2017年度 大学案内完成!

2017年4月からの校名変更に伴い、校名表記を「嵯峨美術大学」「嵯峨美術短期大学」として大学案内を発行いたしました。表紙は「嵯峨美」の愛称をあしらい、新しい「嵯峨美」への期待が膨らむデザインとなりました。

各学科・領域の紹介はもちろん、学生が制作に打ち込む様子や、大学を取り巻く美しい嵯峨野の風景など、嵯峨美の日常が垣間見える美大らしい大学案内になっています。今年度もアート、デザイン、企画関係など多方面で活躍している近年の卒業生を紹介しています。また、一般企業で大学での学びを活かし、活躍している卒業生の特集も掲載。嵯峨美で学んだこと、今の仕事に活きていること、卒業してからのアートやデザインとの向き合い方などをお話いただき、受験生に本学での学びの可能性を

感じてもらえる内容になりました。

嵯峨美の学びと環境、教員と学生のまなざしを伝えるこの大学案内が、今年度の学生募集に役立つことを願っています。(入学広報グループ)



告知

2016年度 入学関係情報

今年のオープンキャンパスは、4月24日(日)、6月12日(日)、7月24日(日)、8月21日(日)、10月29日(土)、30日(日)です。体験入学は5月29日(日)、6月19日(日)、7月10日(日)、9月11日(日)に行います(キャンパス見学会は随時)。前年度の併願可能入試の中で最多受験者数を記録したスカラシップ入試は、3月に後期日程を新設し、年2回実施します。合格者には年額50万円の給付制度が適用されます(継続審査有。大学:年額50万円×4年間、短期大学:年額50万円×2年間)。他にも前年度に引き続き「AO入試教育支援奨学金」(合格者全員に10万円給付)や、申請資格を満たした方に給付する「推薦入試奨学金」(大学(四年制):37万5千円、短期大学:30万円)等、

返済不要の給付型奨学金制度を多数設けています。

今後も本学の魅力をアピールしつつ、入試内容や奨学金制度を充実させ、入学者増をめざしたいと考えております。(入学広報グループ)



附属機関

2015年度 卒業・修了制作選抜展報告

期間:4月1日(金)~24日(日)

場所:附属ギャラリー、附属博物館、玄関ホール

主催:制作展WG

京都市美術館で行われた2015年度卒業・修了制作展から受賞作を中心として選出された作品を再展示する選抜展が、本学附属ギャラリー及び附属博物館、玄関ホールを会場として開催されました。昨年度の同企画は3月末のオープンキャンパスから4月初めの入学式までわずか3日間のみの公開でしたが、2度目の開催となる今年度は3月末のプレオープンから4月末のオープンキャンパスまで、約1か月に会期を拡大して行われ、1,000名を超す来場者に恵まれる結果となりました。

新入生や在校生、また保護者や受験生など本学を訪れた多くの方々に対して、作品表現やデザイン提案など本学の学びの実例を網羅的に紹介する場として有効な役割を果たしたと考えられます。(制作展WG)



2015(平成27)年度 収支決算報告

大学は、学生から納付された授業料等の学納金と国庫補助金を大きな収入源としており、その他、種々の手数料や寄付金を加えて、学生の教育や課外活動、教員の研究活動、地域社会との連繋事業等にかかる経費を賄っています。また、日々の教育研究活動を支える校舎の安全性・利便性確保やコンピュータをはじめとする設備の更新を行いつつ、収支のバランスを保ちながら拡充のために投資や将来に向けての積立を行います。

○4つの計算書類

資金収支計算書は、1年間の諸活動に対応するすべての収入と支出の内容と資金の顛末を表す計算書です。その資金収支を「教育活動」「施設整備等活動」「その他の活動」と3区分に組み替え、活動ごとのキャッシュフローを明確にする目的で新設されたのが、活動区分資金収支計算書です。また事業活動収支計算書は従来の消費収支計算書を改良したもので、1年間の学校の事業に係る収入と支出の内容と均衡の状態を明らかにするもので、企業会計でいう損益計算書にあたります。大学は営利団体ではないので、利益を出すことを目的とはしていませんが、収支のバランスが取れた安定した経営が望まれます。また貸借対照表は、年度末の資産と負債、純資産の状況を示しています。

○資金収支計算書の主な科目について

資金収支計算書の収入に関わる科目として、学生生徒等納付金収入は文字通り、学生から徴収した学費です。大学の最も大きな収入源となります。手数料収入は入学検定料や証明手数料、華道免許等申請手数料などが含まれます。寄付金収入には寄付の目的を特定した特別寄付金と教育施設・設備拡充資金として教育全般を支援いただいている一般寄付金の2種類があります。補助金収入は国と地方公共団体からの補助金です。資産売却収入は施設や設備、有価証券などの資産を売却した時に生じる収入です。付随事業・収益事業収入には学生寮の収入である補助活動収入、各種団体からの受託事業による収入や生涯学習講座受講料などの公開講座収入などが含まれます。受取利息・配当金収入は預金の利息等の収入をいいます。雑収入は施設利用料の収入や本学園が加入する私立大学退職金財団から交付される退職資金の収入が主です。前受金収入とは次年度分の授業料等で前年度に受け入れた額をいいます。学校会計では前年度の前受金を資金収入調整勘定の中で差し引いて調整しています。一方、支出に関わる科目として、まず人件費支出があります。人件費には専任教職員・非常勤教職員、役員すべての人件費と退職金が含まれます。教育研究経費支出は学校本来の事業である教育研究活動を支えるすべての経費のことで、消耗品費や光熱水費、通信運搬費、修繕費、支払手数料、奨学金などに分かれています。管理経費支出も同様に分かれています。中身は法人運営業務や人事に係る費用、学生募集・広報の経費に限られます。借入金等利息支出・借入金等返済支出は文字通り、返済した借入金利息と元金のことです。施設関係支出は建物や構築物、設備関係支出

はコンピュータや視聴覚機器などの教育研究用機器備品や管理的業務に使用する機器備品、図書などへの新たな投資額を指します。資産運用支出とは特定の目的をもって資金を積み立てるものです。

○活動区分資金収支計算書の見方

教育活動による資金収支は、資金収支計算書の資金収入及び資金支出のうち、「施設整備等活動」及び「その他の活動」による資金収支をのぞいたもので、キャッシュベースでの本業の教育活動の収支状況を見ることができます。施設整備等活動による資金収支は、施設・設備の取得または売却その他これらに類する活動に係る収支をいいます(「その他これらに類する活動」とは、資産の増加を伴う施設もしくは設備の改修等であり、施設設備の修繕費や除却に伴う経費は含みません)。当年度に施設設備の購入があったか、財源がどうだったかを見ることができます。その他の活動による資金収支は、財務活動、収益事業活動、預り金の受払い等の経過的活動に係る資金収支並びに収支を伴う過年度修正額をいいます。具体的には、①借入金(学校債)等の借入、返済に係る収支、②有価証券の購入、売却に係る収支、③受取利息・配当金、支払利息等であり、借入金の収支、資金運用の状況等、主に財務活動を見ることができます。

○事業活動収支計算書の見方

事業活動収支計算書は従来の消費収支計算書の改良版です。経常的及び臨時的収支に区分して、それぞれの収支状況を把握できるよう改正されました。さらに経常的な収支を「教育活動収支」と「教育活動外収支」に分けて把握することができます。

各収支の収入の部は、資金収支計算書の学生生徒等納付金収入から雑収入までとほぼ同じで、特別収支に現物寄付の額が新たに加算されています。借入金のように学校法人の負債となるような外部資金は含まず、すべて学校に帰属する収入のみとなっています。

一方、各収支の支出の部は、資金収支計算書の人件費から借入金等利息までとほぼ同じ内容ですが、教育研究経費と管理経費にそれぞれ過去に取得した建物や機器備品の減価償却額を経費として加えています。その他、古くなった資産を処分したことによる費用(資産処分差額)や徴収不能額等を計上しています。施設設備の維持と拡充などにあてるための基本金を最後に差し引いて(組入れて)、当年度の収支差額を出す方式に改められました。

当年度の主な施設設備の整備

さて平成27年度は施設設備関係の整備として、博物館収蔵庫の空調設備、学科改編に伴う校舎改修工事、学生食堂厨房のフード消火器、厨房機器、短大実習室の什器の更新、講義室の視聴覚機器のデジタル化、構内電話のIP電話化等を実施しました。また順次蛍光灯等からLED照明への転換を進めています。

財政の状況

資金収支計算書の収入の部では、学生数の減少に伴い ➡

学生生徒等納付金は、やや減少しました。補助金では昨年1件しか選定されなかった私立大学等改革総合支援事業補助金に対し、全学をあげて取り組んだ結果、今年度は再び3件選定され大幅増額となりました。支出の部では、人件費の抑制に努める一方、教育研究経費は教育の質保障と、学生の経済的負担軽減の観点から前年度より大幅増額し、4千万円、16%の増額となりました。平成25年度に大幅に増加した光熱水費が省エネと新電力の採用により昨年よりさらに7百万円、12%の減少となり、より有効に資金を教育研究活動に振り向けられることとなりました。学生の奨学金は3千4百万円、208%の大幅増としました。

活動区分資金収支計算書から見た資金の状況は、教育活動による資金収支がプラス1億3千3百万円で、施設整備等活動による資金収支のマイナス3千7百万円、さらにその他の活動による資金収支(主として借入金の返済)マイナス4千4百万円も賄ったうえで、5千2百万円を次年度へ増額繰越しています。資金の状況は健全な状況を維持しています。

事業活動収支では、教育活動収支が依然8千7百万円の赤字であり、少額の教育外収支を加えた経常収支でも8千6百万円の赤字を計上しており、年間の収支バランスが崩れています。人件費の削減も引き続き実施しながら、教育研究経費を増額して教育の充実に努めていますが、入学生数の増加には時間がかかり、すみやかな収支バランスの回復にまでは至っていません。現物寄付の受け入れにより特別収支が1億5千万円の黒字となり、基本金組入前収支は6千4百万円の黒字となりました。現物寄付と借入金の返済、施設設備投資による基本金の組入れは、前年度からの繰延による影響で1千4百万円となり、当年度の収支差額は4千9百万円の黒字となりました。

年度末の資産と負債等の状況は、貸借対照表の通り、93億3千万円の資産を有し、負債は12億8百万円で、純資産は81億2千万円となっています。負債を上回る十分な流動資産を保持しています。負債のうち借入金金は1億5千万円で、計画通り返済を進めています。

2015(平成27)年度 収支決算

【資金収支計算書】 2015(平成27)年4月1日～2016(平成28)年3月31日 (単位:千円)

収入の部				支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異	科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	1,059,234	1,057,434	1,800	人件費支出	831,193	830,555	638
手数料収入	12,013	12,465	△ 452	教育研究経費支出	304,838	288,805	16,032
寄付金収入	3,650	5,270	△ 1,620	管理経費支出	135,850	132,827	3,023
補助金収入	159,471	149,642	9,829	借入金等利息支出	2,733	2,731	2
付随事業・収益事業収入	14,335	15,843	△ 1,508	借入金等返済支出	46,656	46,656	0
受取利息・配当金収入	3,642	3,648	△ 6	施設関係支出	10,952	12,551	△ 1,599
雑収入	124,973	126,213	△ 1,240	設備関係支出	31,795	32,432	△ 637
前受金収入	226,557	216,799	9,758	その他の支出	44,893	56,901	△ 12,008
その他の収入	94,607	72,819	21,788	(予備費)	10,000	――	10,000
資金収入調整勘定	△ 415,477	△ 416,573	1,096	資金支出調整勘定	△ 180,722	△ 212,535	31,813
前年度繰越支払資金	1,355,834	1,355,834	――	次年度繰越支払資金	1,400,651	1,408,471	△ 7,820
収入の部合計	2,638,839	2,599,394	39,445	支出の部合計	2,638,839	2,599,394	39,445

【活動区分資金収支計算書】 2015(平成27)年4月1日～2016(平成28)年3月31日 (単位:千円)

	科 目		金 額
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	1,057,434
		手数料収入	12,465
		特別寄付金収入	3,307
		一般寄付金収入	1,963
		経常費等補助金収入	139,278
	支出	付随事業収入	15,843
		雑収入	124,863
		教育活動資金収入計	1,355,152
		人件費支出	830,555
		教育研究経費支出	288,805
施設整備等活動による資金収支	収入	管理経費支出	132,827
		教育活動資金支出計	1,252,187
		差引	102,965
		調整勘定等	30,260
		教育活動資金収支差額	133,225
	支出	施設設備補助金収入	10,364
		施設整備等活動資金収入計	10,364
		施設関係支出	12,550
		設備関係支出	32,432
		施設整備等活動資金支出計	44,982
その他の活動による資金収支	収入	差引	△ 34,618
		調整勘定等	△ 1,950
		施設整備等活動資金収支差額	△ 36,568
		小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	96,656
	支出	仮払金回収収入	548
		小計	548
		受取利息・配当金収入	3,648
		過年度修正収入	1,350
		その他の活動資金収入計	5,546
貸借対照表	収入の部	借入金等返済支出	46,656
		預り金支払支出	178
		小計	46,834
		借入金等利息支出	2,732
		その他の活動資金支出計	49,566
	支出の部	差引	△ 44,020
		調整勘定等	0
		その他の活動資金収支差額	△ 44,020
		支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	52,637
		前年度繰越支払資金	1,355,834
翌年度繰越支払資金	1,408,471		

【事業活動収支計算書】 2015(平成27)年4月1日～2016(平成28)年3月31日 (単位:千円)

	科 目	予 算	決 算	差 異	
教育活動収支	収入の部	学生生徒等納付金	1,059,234	1,057,434	1,800
		手数料	12,013	12,465	△ 452
		寄付金	3,650	5,270	△ 1,620
		経常費等補助金	149,107	139,278	9,829
		付随事業収入	14,335	15,843	△ 1,508
	支出の部	雑収入	124,973	124,863	111
		教育活動収入計	1,363,312	1,355,152	8,160
		人件費	799,167	823,862	△ 24,695
		教育研究経費	484,338	461,620	22,718
		管理経費	146,450	145,725	725
教育活動外収支	収入の部	徴収不能額等	7,531	11,249	△ 3,718
		教育活動支出計	1,437,486	1,442,456	△ 4,970
		教育活動収支差額	△ 74,174	△ 87,304	13,130
		受取利息・配当金	3,642	3,648	△ 6
		教育活動外収入計	3,642	3,648	△ 6
	支出の部	借入金等利息	2,733	2,732	1
		教育活動外支出計	2,733	2,732	1
		教育活動外収支差額	909	916	△ 7
		経常収支差額	△ 73,265	△ 86,398	13,133
		その他の特別収入	146,764	150,071	△ 3,307
特別収支	収入の部	特別収入計	146,764	150,071	△ 3,307
		資産処分差額	0	25	△ 25
		特別支出計	0	25	△ 25
		特別収支差額	146,764	150,046	△ 3,282
		基本金組入前当年度収支差額	63,499	63,659	△ 160
	支出の部	基本金組入額合計	△ 217,356	△ 14,088	△ 203,268
		当年度収支差額	△ 153,857	49,571	△ 203,428
		前年度繰越収支差額	△ 3,264,301	△ 3,264,301	0
		翌年度繰越収支差額	△ 3,418,158	△ 3,214,730	△ 203,428

【貸借対照表】 2016(平成28)年3月31日 (単位:千円)

資産の部		負債・基本金・消費収支差額の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	7,783,341	固定負債	706,832
流動資産	1,548,791	流動負債	501,970
資産の部合計	9,332,132	負債の部合計	1,208,802
		基本金	11,338,060
		繰越収支差額	△ 3,214,730

NEWS

大学報告

入学宣誓式報告

2016(平成28)年度入学宣誓式を4月2日(土)に挙行いたしました。江頭弘勝理事長、森本武学長より式辞があり、藤原啓治教育後援会会長より祝辞をいただきました。在学生を代表して血谷明日香さんによる歓迎の言葉が述べられた後、短期大学部美術学科コミックアート分野の石川麻美さんによる新入生宣誓が行われ、初々しい空気の中、閉式いたしました。なお、本年度の入学生は右記の通りです。(管理運営グループ)

2015年度 進路概況

2016年3月卒業・修了生への求人倍率は1.73倍(リクルートワークス研究所調査)と前年より若干上昇しましたが、本学への求人数は若干減少し1,670件でした。

学生の進路状況については入学年次のキャリアカルテ作成に始まり進路ガイダンスやキャリアアプランニングとインターンシップ研修の授業、業界研究会や学内会社説明会、各種の講座などを実施し、芸術学部では3年次6月、短期大学部では1年次10月、それぞれの進路ガイダンス後に進路アンケートとあわせて個人面談など、学生一人ひとりに対して進路支援を行っています。

2016年3月卒業・修了生の就職状況については芸術学部でデザインや広告などのサービス業が43%、印刷を始め繊維や食品などの製造業が20%、小売業が11%、教育関係が4%、短期大学部ではデザインや広告などのサービス業が47%、印刷を始め繊維や食品などの製造業が14%、小売業が23%となっています。

【京都嵯峨芸術大学大学院】	
●芸術研究科	13名
【京都嵯峨芸術大学芸術学部】	
●造形学科	50名(内3年次編入生3名)
●デザイン学科	90名(内3年次編入生4名)
小 計	140名
【京都嵯峨芸術大学短期大学部】	
●専攻科	15名
●美術学科	141名
小 計	156名
合 計	309名 (内3年次編入生7名)



また職種別では芸術学部で企画やデザインなどが53%、接客や販売が7%、事務が7%、営業や総合職が14%、短期大学部では企画やデザインなどが40%、営業や総合職が19%、接客や販売が21%、事務が12%となっています。

さらに地域別に見ると芸術学部で京都が32%、大阪が31%、東京が14%、短期大学部では京都が32%、大阪が24%となっています。

(教務・学生支援グループ、キャリア支援)

進路内訳	芸術学部(大学院を含む)	人数(名)	進路内訳	短期大学部(専攻科を含む)	人数(名)
	2015年度卒業・修了生数	138		2015年度卒業・修了生数	127
	就職決定	72		就職決定	44
	就職未定	23		就職未定	25
	大学院進学	8		大学編入学	6
	専門学校			専攻科進学	15
	受験準備	2		専門学校	3
訳	制作活動	6		受験準備	3
	アルバイト			制作活動	8
	その他	1		アルバイト	4
	不明(「進路調査書」未提出)	26		その他	4
				不明(「進路調査書」未提出)	15

(2016年5月1日現在、教務・学生支援グループ、キャリア支援)

【2016(平成28)年度 資金収支予算書】 (単位:千円)			
収入の部		支出の部	
科 目	予 算	科 目	予 算
学生生徒等納付金収入	1,051,880	人件費支出	698,880
手数料収入	12,026	教育研究経費支出	298,845
寄付金収入	3,650	管理経費支出	139,921
補助金収入	148,008	借入金等利息支出	1,957
付随事業・収益事業収入	15,295	借入金等返済支出	46,656
受取利息・配当金収入	3,520	施設関係支出	7,400
雑収入	32,285	設備関係支出	16,338
前受金収入	223,625	その他の支出	199,157
その他の収入	148,732	(予備費)	10,000
資金収入調整勘定	△ 273,792	資金支出調整勘定	△ 58,626
前年度繰越支払資金	1,400,651	翌年度繰越支払資金	1,405,352
収入の部合計	2,765,880	支出の部合計	2,765,880

【2016(平成28)年度 活動区分資金収支予算書】			(単位:千円)
教育活動による資金収支	科 目		予 算
	収入	学生生徒等納付金収入	1,051,880
		手数料収入	12,026
		特別寄付金収入	1,800
		一般寄付金収入	1,850
		経常費等補助金収入	148,008
		付随事業収入	15,295
	支出	雑収入	32,285
		教育活動資金収入計	1,263,144
		人件費支出	698,880
		教育研究経費支出	298,845
		管理経費支出	139,921
教育活動資金支出計		1,137,646	
差引		125,498	
調整勘定等	△	33,069	
教育活動資金収支差額		92,429	
施設整備等活動による資金収支	収入	施設設備寄付金収入	0
		施設設備補助金収入	0
		施設設備売却収入	0
		施設整備等活動資金収入計	0
	支出	施設関係支出	7,400
		設備関係支出	16,338
		施設整備等活動資金支出計	23,738
	差引	△	23,738
	調整勘定等		10,219
	施設整備等活動資金収支差額	△	13,519
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)		78,910	
その他の活動による資金収支	収入	借入金等収入	0
		預り金受入収入	0
		小計	0
		受取利息・配当金収入	3,520
		その他の活動資金収入計	3,520
	支出	借入金等返済支出	46,656
		預り金支払支出	18,416
		仮払金支払支出	700
		小計	65,772
		借入金等利息支出	1,957
		その他の活動資金支出計	67,729
	差引	△	64,209
	調整勘定等		0
	その他の活動資金収支差額	△	64,209
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)		14,209	
前年度繰越支払資金		1,400,651	
予備費		10,000	
翌年度繰越支払資金		1,405,352	

【2016(平成28)年度 事業活動収支予算書】			(単位:千円)	
教育活動収支	事業活動収入の部	科 目	予 算	
		学生生徒等納付金	1,051,880	
		手数料	12,026	
		寄付金	3,650	
		経常費等補助金	148,008	
		付随事業収入	15,295	
		雑収入	32,285	
		教育活動収入計	1,263,144	
		事業活動支出の部	人件費	707,683
			教育研究経費	477,845
	管理経費		152,423	
	徴収不能額等		9,150	
	教育活動支出計		1,347,101	
教育活動収支差額		△ 83,957		
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	3,520	
		その他の教育活動外収入	0	
	教育活動外収入計		3,520	
	事業活動支出の部	借入金等利息	1,957	
		その他の教育活動外支出	0	
	教育活動外支出計		1,957	
	教育活動外収支差額		1,563	
	経常収支差額		△ 82,394	
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	0	
		その他の特別収入	1,000	
	特別収入計		1,000	
	事業活動支出の部	資産処分差額	0	
		その他の特別支出	0	
	特別支出計		0	
	特別収支差額		1,000	
[予備費]		10,000		
基本金組入前当年度収支差額		△ 91,394		
基本金組入額合計		△ 69,486		
当年度収支差額		△ 160,880		
前年度繰越収支差額		△ 3,418,158		
翌年度繰越収支差額		△ 3,579,038		

事業活動収入計	1,267,664
事業活動支出計	1,359,058